

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第1問 (1)～(10)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (1) この研究に関する論文については、すべて さんしょう した。
- (2) この論文では、早急な解決の必要性が してき された。
- (3) 医療分野に とっか した日本語教育を行うことになった。
- (4) 習得課程に しょうてん を当てて研究することにした。
- (5) この結果は、個人の ぞくせい に影響を受けていると考えられる。
- (6) この分析には、文化的 はいけい の違いについても考慮する。
- (7) この研究の目的は、意識変容の よういん を探ることである。
- (8) この調査の たいしょう 者は、日本語母語話者である。
- (9) 文化差の影響を はいじょ することは難しい。
- (10) これまでの研究の ちけん を生かして考察していく。

第2問 (11)～(20)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (11) この事例は、この理論の内容に 該当 すると思われる。
- (12) 前回の調査と 類似 した結果が出た。
- (13) この状況では、意思の 疎通 が難しい。
- (14) 分析には、意味的まとまりを 備えた 単位を用いる。
- (15) この結果は 被験者の 親疎 関係が影響しているとわかった。
- (16) 調査では、出現 頻度 を比較した。
- (17) この方法は母語の違いに対応することを 意図 している。
- (18) この問題の解決には、有機的な 連携 が必要となるだろう。
- (19) 結果には、データの内容を多角的に 記述 している。
- (20) データから、明らかな問題点を 抽出 した。

第3問 次の文の下線 (21)～(25) に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

本調査は、これまでの学習活動に関する研究結果を (21) _____、新たな相互的学習活動は、言語能力の向上を (22) _____ いるのかを調べることを目的としている。なお、この調査では、すべて被験者の同意を (23) _____ 行っている。結果から、この新たな学習活動は言語能力向上に有意に影響を (24) _____ いることが明らかになった。また、学習者が意識的に活動に (25) _____ いるかどうかにも影響があるとわかった。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|---------|
| A. 及ぼして | B. 得て | C. 臨んで | D. 促して | E. 踏まえて |
|---------|-------|--------|--------|---------|

2023年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んで後の問い(1)～(4)に答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2023年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

日 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
B日程	応用言語学研究科	一 般 社 会 人 外国人留学生	日 本 語

- (1) 下線部 A「知らなかった。サッカー場はどこも同じ大きさと思っていたわ」 という発言は、何のためにしていると考えられますか。わかりやすく説明しなさい。
- (2) 空欄 に入れるのに最も適当な一語を文中から選んで記しなさい。
- (3) 下線部 C地道な模索 の内容をわかりやすく説明しなさい。
- (4) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内で述べなさい。